



鹿工技ニュース

創刊号

1988.3

鹿児島県工業技術センター

発刊にあたって

鹿児島県工業技術センター
所長 竹盛欣男



本県では、最近の工業技術の先端化・複合化に対応し、各分野にわたる総合的な試験・研究・指導・情報提供等の機能の充実・強化を目的として県の工業系3試験研究機関（工業試験場、機械金属技術指導センター、木材工業試験場）を廃止し、旧3機関の専門部門に加えて、電子、デザイン、企画情報の部門を設けて、工業技術センターを設立し、昭和62年12月1日をもって開所いたしました。それに伴い、旧3機関で発行しておりました情報誌（「技術情報」「技術ニュース」「鹿木試験ニュース」）を廃止し、鹿児島県工業技術センターの情報誌として本誌を発行致すことになりました。旧誌の御愛顧に対し、厚く御礼申し上げますとともに、本誌に対しても変わらぬ御愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

昨今、地域の活性化が叫ばれる中で、地域技術の中核であるべき公設試験研究機関の役割は益々重要となって来ておりますが、技術革新の急速な進展、消費者ニーズの多様化、産業の国際化、情報化の進展等の地域工業をとりまく環境の変化に

対応していくためには、先端技術への積極的な取り組み、異専門分野の有機的な連携による生産技術の高度化や新製品の開発などに努力し、また、産学官協力を一層推進して、基礎、応用、開発の各研究段階の連携プレーを強化することなどが肝要と考えられ、当センターとしては、県内地場企業の技術開発に役立つ基盤技術の確立に努力し、技術指導等に務めるとともに、産学官協力における良き融媒となり得るよう励んで参りたいと考えております。

また、地域にとっては、技術情報の適確な把握と提供も重要な課題であり、当センターでは、工業系の技術情報として、先づ特許情報（特許公報、特許出願公開目次等）、日本工業規格、各県工業系公設試験研究機関の研究業務報告などの閲覧から開始し、今後ジョイスとパトリスの利用や、電子ファイルを用いる当センター独自の技術情報検索システムの構築も行う予定であります。

今後共、よろしく御指導、御鞭撻下さいますようお願い申し上げます。

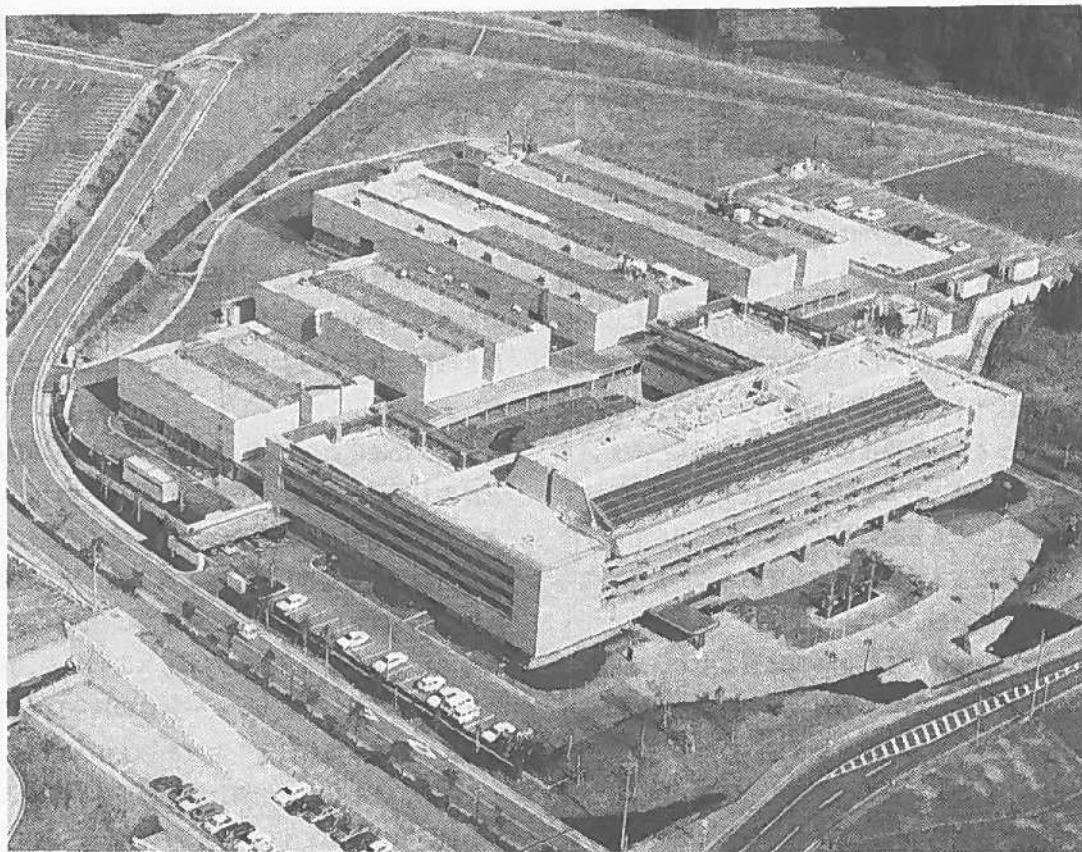
県工業技術センター オープン（'87.12.1）

ハイテクランドづくりを目指す鹿児島県の新しい工業系試験研究の中核機関として、始良郡隼人町小田に建設を進めていた「鹿児島県工業技術センター」が昭和62年12月1日オープンしました。

このセンターは、工業技術の振興とテクノポリス建設における中核的機関とするために、工業試験場、機械金属技術指導センター、木材工業試験場を統合したものです。

技術立県をめざす本県の「技術面での頭脳基地」となり、ハイテク技術の研究開発、県内企業への技術指導、情報提供を行うのをはじめ、企業の技術者養成、自主的な研究・講習等にも施設を提供する開かれた研究センターを目指しています。

鉄筋コンクリート造りの地下一階、地上三階の管理研究棟と四棟の実験棟からなり、総事業費は約61億円で、本県における「工業技術の拠りどころ」として多くの県内企業の活用を期待します。

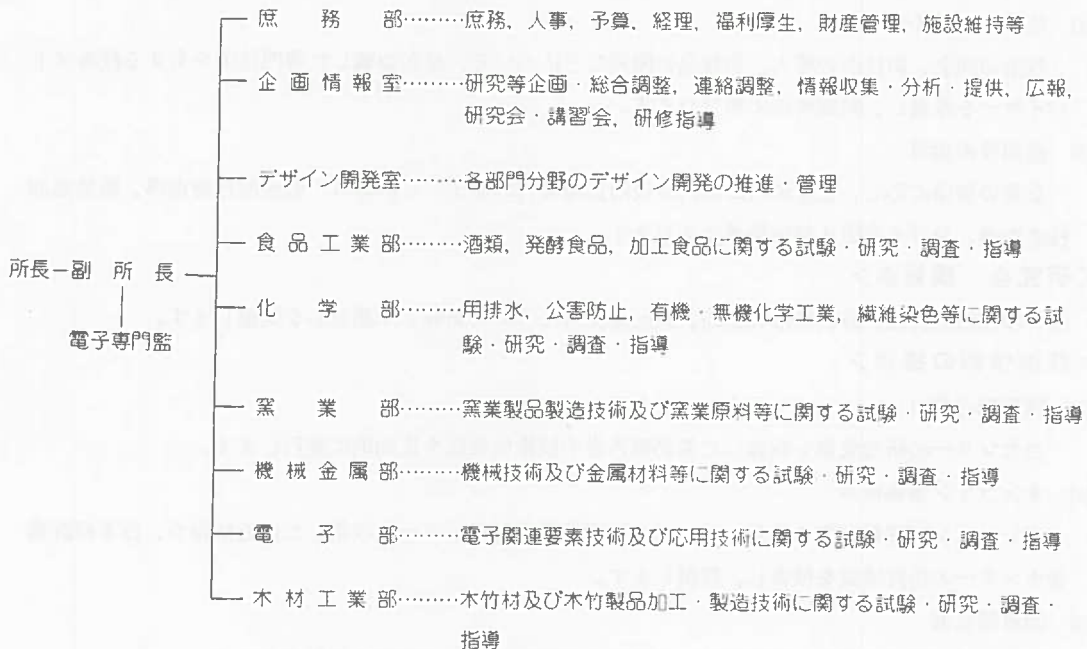


センターの特徴

他県の同種の施設に比べると次のような特徴があります。

- ① 開かれた研究機関として一階に500㎡のショールーム・交流ラウンジを確保してあります。
ショールームでは「人間・時・技術」をテーマに、過去から未来へと進展を続ける鹿児島県の工業技術を紹介しています。
このオープンスペースと中庭・前庭を一体的に利用することで、職員と利用者の相互交流の場として活用できるようにしています。
- ② 利用者の利便を考慮して、技術相談室・研修室・図書閲覧室等の情報機能、研修指導機能を一階に集中配置してあります。
- ③ 全国から注目を浴びているのは、省エネルギー対策とローカルエネルギー活用の一環として、マルチハイブリッド発電システムを組み込んだことにあります。このシステムは太陽電池と小水力発電装置で構成される発電システムで、主に一階の照明に利用しています。

組織と業務



センターの規模・設備・機能

センターの規模は、敷地面積約69,200㎡、建物延床面積約15,200㎡で全国でもトップクラスにあります。これは、将来の技術革新にも対応できるよう十分に考慮したものであります。

設備・機能については、これまでの試験研究機能の充実を図るとともに、微生物開放試験室、CADシステム（コンピュータを用いた設計システム）、電子ファイルなど最新の機器類を導入し、細胞融合、電子部品の設計、技術情報の収集提供、デザイン開発など新しい分野の研究・指導にも十分対応できるよう整備されています。

主な業務の内容は次のとおりです。

<研究開発>

県内企業ニーズに対応した工業技術に関する研究・開発を行います。主な研究・開発の内容は、次のとおりです。

- (1) コンピュータ応用技術、バイオテクノロジー、精密加工技術等の先端技術開発。
- (2) ファインセラミックス、木竹材、天然染料等を用いた新製品の開発。
- (3) シラス、木質材料等、地域資源の有効利用に関する研究。
- (4) 焼酎製造工程の自動化、金属表面処理技術等、生産技術の高度化に関する研究。
- (5) パソコンCADシステムを用いたデザインの開発。

<技術指導・相談>

技術力の向上、製品開発のための技術指導・相談を実施します。

(1) 技術アドバイザー指導

技術の向上、新技術の導入、新製品の開発などについて、県が委嘱した専門技術を有する技術アドバイザーを派遣し、問題解決にあたります。

(2) 巡回技術指導

企業の要望に応じ、生産現場に出向き技術指導を行います。これには一般巡回技術指導、簡易巡回技術指導、及び公害防止技術指導があります。

<研究会・講習会>

業界の技術的課題、最新技術の動向、製品開発等について研究会や講習会を開催します。

<技術情報の提供>

(1) 情報誌の発行

当センターの研究成果を収録した業務報告書や技術情報誌を定期的に発行します。

(2) オンライン情報検索

オンライン検索端末機を使用して、日本科学技術情報センターで収集した技術情報や、日本特許情報センターの特許情報を検索し、提供します。

(3) 図書閲覧室

工業技術に関する図書、専門雑誌、規格類及び特許関係の公報等を閲覧できます。

<技術者の養成>

企業の技術者養成ため、随時技術研修を行っているほか、中期研修、短期研修等も実施します。

主要施設



◀ モニュメント“メビウス'88”

「伝統技術と先端技術の融和と技術の無限の可能性」をテーマとして作成されたもので三本の円柱は、それぞれ伝統性、可能性、先端性を表現しています。

▶ ショールーム

「人間・時・技術」をテーマに過去から未来へと発展する技術に親しむ場を提供します。
新しい情報・技術・研究成果等を紹介します。

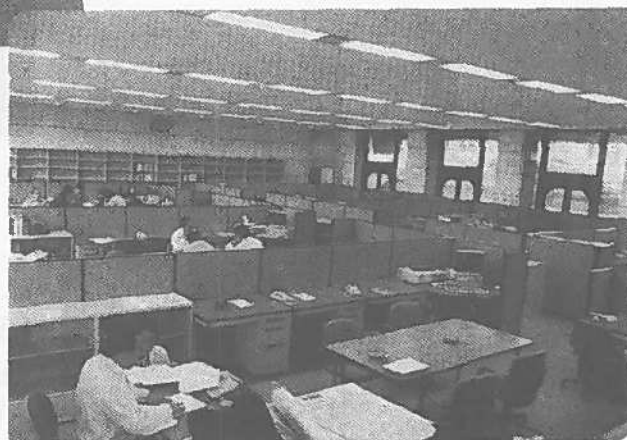


◀ 交流ラウンジ

利用者の交流・休憩の場を提供します。

▶ 研究員室

研究員のデスクワーク、例えば研究データの討論や整理をする場として使用します。



主要設備 [研究棟の設備]

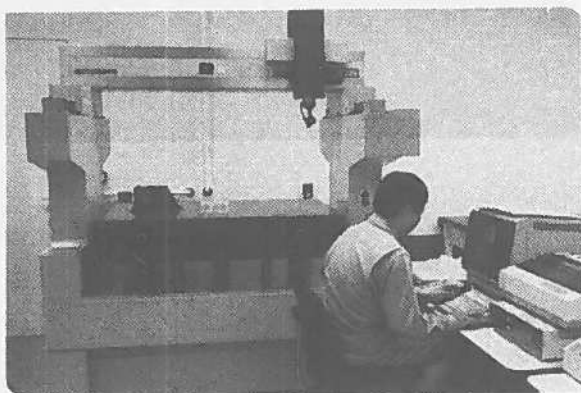


◀ デザインCADシステム

パソコンを利用して工業製品等のデザイン設計を行います。

▶ 三次元測定機

金型をはじめ、各種複雑形状の部品や製品を高精度で能率よく測定できます。

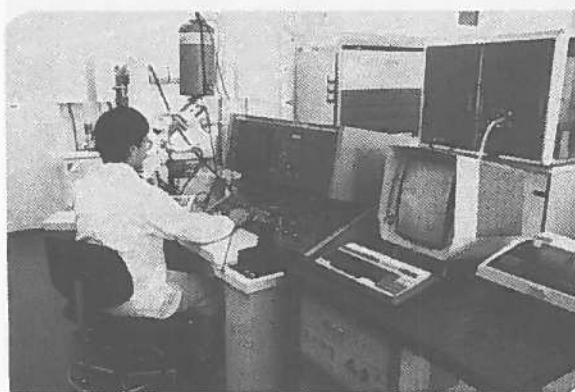
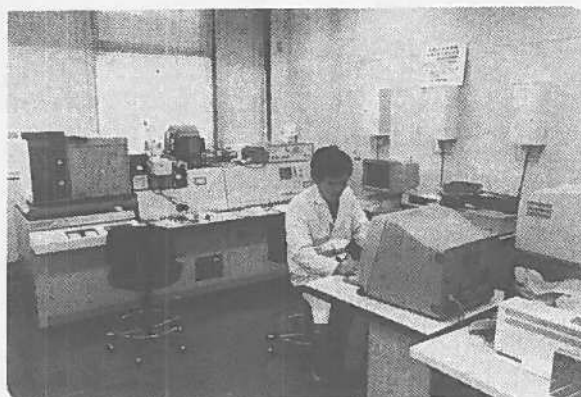


◀ 回路設計CADシステム

コンピュータを利用し、回路図設計やプリント基板の設計を行います。

▶ ガスクロマトグラフ質量分析計

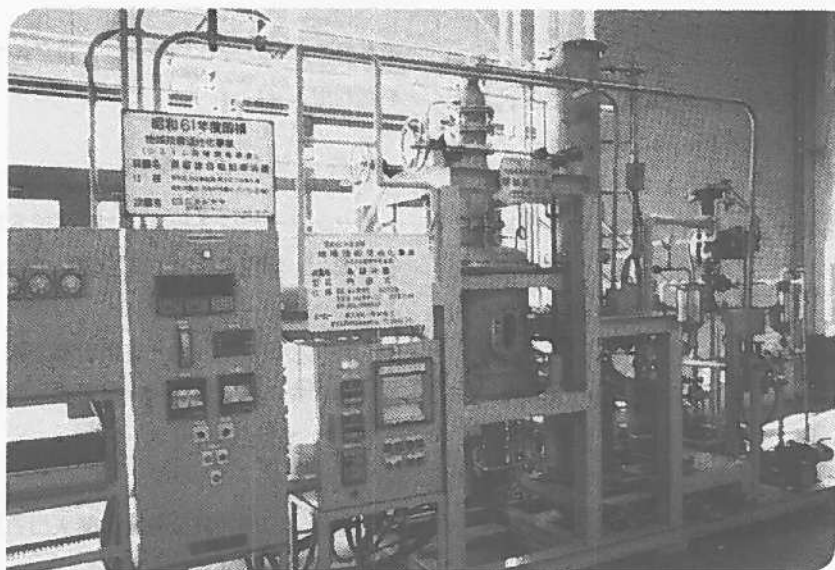
有機化合物をガス化・分離し、成分の検索、同定、定量、構造決定を行います。



◀ EDX付走査電子顕微鏡

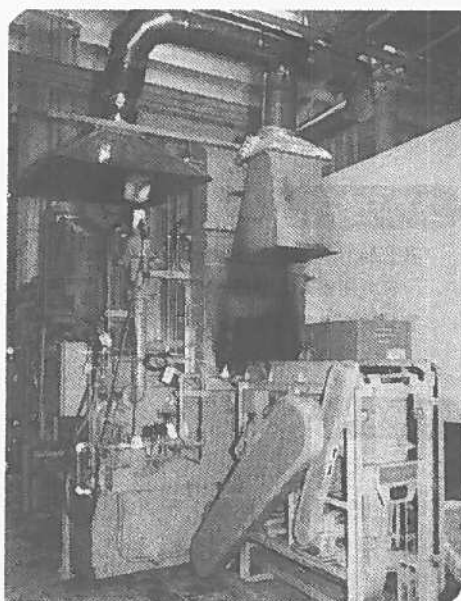
固体試料表面の微細構造や微小領域の元素分析が可能です。

主要設備 [実験棟の設備]



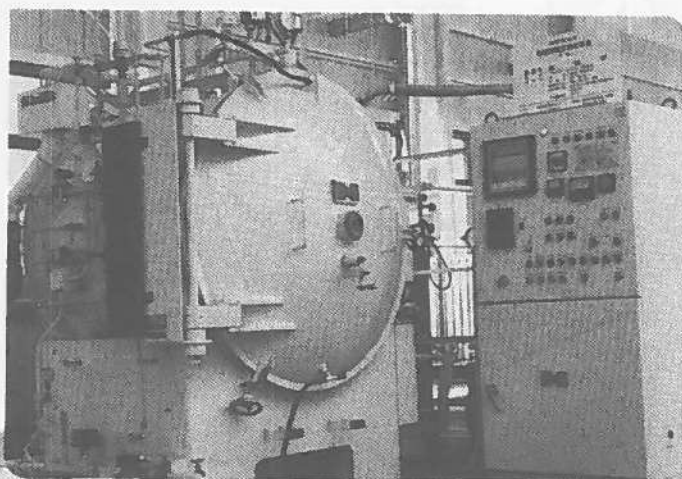
▲ 蒸留装置

諸条件をコンピュータ制御し、各種のデータが自動的に記録されます。



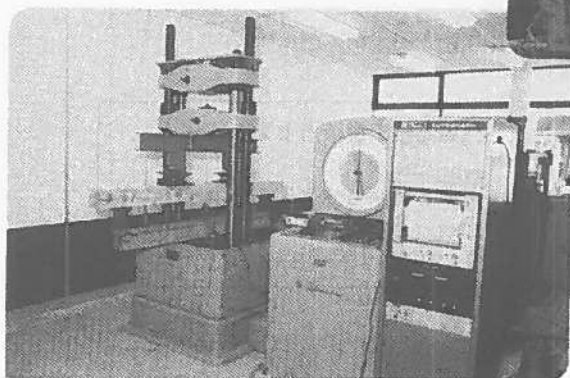
◀ 雰囲気熱処理炉

金型治工具や機械部品の無酸化焼入れ、浸炭、浸炭窒化などの精密熱処理を行います。



▲ 真空炉

高真空、不活性ガス雰囲気中でのファインセラミックスの焼結条件の研究を行います。



◀ 強度試験機

材料強度とヤング係数から構造用材としての評価を行います。

お 知 ら せ

発 明 相 談

社団法人日本発明協会鹿児島県支部では、4月から第3土曜日（9:00～12:00）に当センターで発明・特許の相談を行います。また、第2および第4土曜日には自治会館で発明・特許の相談を行います。

詳細については、県工業振興課工業指導係へお問い合わせ下さい。

TEL 0992-26-8111 (内線2881)

コピーサービスのご案内

今まで図書閲覧等の際にご不便をかけておりましたが、当センターでは、4月からコピーサービスを行うことになりました。図書閲覧室利用の際

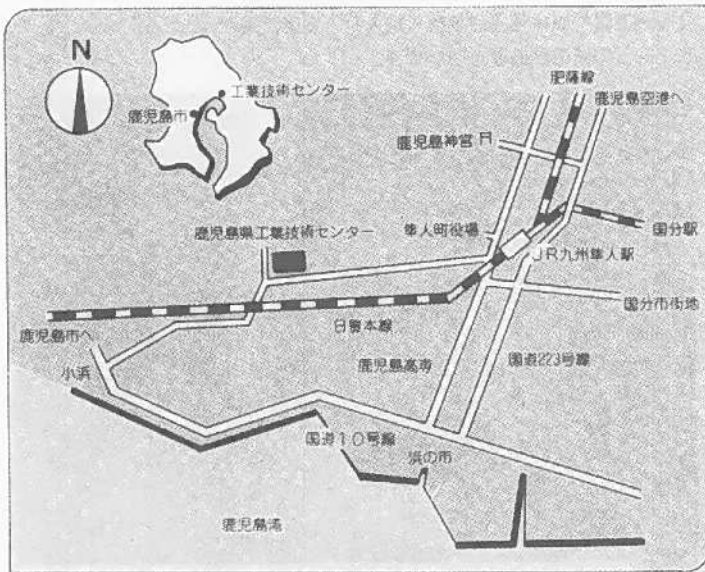
に複写の必要が生じた場合は、当コピーサービスを御利用下さい。

特許公報類のご案内

当センターでは、特許庁より交付される公報類を所蔵し、閲覧希望の方に公開しています。所蔵公報類は次のとおりです。

- (1) 特許公報
- (2) 実用新案公報
- (3) 特許庁公報（特許・実用新案・商標公報目録、請求リスト、処分リスト）
- (4) 公表公報
- (5) 目次（公開特許公報、公開実用新案公報）
- (6) 意匠公報（4月から予定）

案 内 図



交通のご案内

- 鹿児島市から車で50分
- JR九州隼人駅から車で5分
- 鹿児島空港から車で20分

問合せ先

〒899-51
鹿児島県始良郡隼人町小田1445-1
鹿児島県工業技術センター
TEL 0995-43-5111 (代表)
FAX 0995-43-1175

鹿工技ニュース 創刊号

1988年3月発行

編集 鹿工技ニュース編集委員会

発行人 竹盛欣男

発行所 鹿児島県工業技術センター

☎899-51

鹿児島県始良郡隼人町小田1445-1

TEL 0995-43-5111 (代表)

FAX 0995-43-4175